被写体の各部を部分測光して露出を決定
します。
心一
□ 露出の決定
1被写体最暗部
(シヤドー部)を
'則
光します。
2被写体最明部
(ハイライト音5)
を測光します。
3シャドー部とハ
イライト部より
中間イ直を読み露
出を決定します。
FN0
1
EV
| 142284
(例)カラーネガフイルムの場合
シャドー音Б F2 8 T‰ lSO 100(EV 9)
ハイライト音6 F16 T)る ISO 100(EV14)
のとき
,/｀
○
|
1: 16 22 32 45 64 90
☆ フイルムには感光の範囲、つまり最も明
るい部分から最も暗い部分までの表現が
できる範囲 (フイルムのラチチュード)が
あります。
従って被写体の明るさがフイルムのラチ
チュードを越えた場合には、その部分は
フイルム上に再現されません。一般的に
モノクロフイルムで
`ま
その範囲が 128:|
(7EV差)、カラーの場合 32:|(5EV差)と
されています。
この様な測定をイテう場合、ビューファイン
グー 5° を使用すると各部を正確に測定で
き便利です ,まず表現したい最明部を測
定して EV値を言売み、次
`こ
最唱音卜を
"川
定し
て EVイ直の差を求めて表現かできる範囲内
(参考)露出値 (EV)目盛の数イrlによるコント
ラスト比は、表のとおりです。
露出値 (EV)目盛の差コントラ卜上し有効露光域
|と 3
6
白黒フイルム
□ 取扱い上の注意
1接点 ⑥ は測定値補正の電気接点となりま
すので、接触を不安定にする変形、汚れ
`こ
,主意して下さい。
2受光部 ③ はプラスチックレンズですので、
清掃はプロワー等でホコリを吹き飛ばす
か、軟かい布にアルコールを浸して軽く
拭きとり常に清潔にしておいて下さい。
〔付属品〕
一体収納型ロングケース ¥2′ 200(別売)
D:GI L:TE F L-328、 D:G:L:TE L318、 D:G:L:TE
L-318Bにビューフアイングー 5° を装着した
まま収納できるソフトケースで、ビューフ
ァイングー5° を常用される方にイ更利です
御利用下さいⅢ
漫り光方式 ● 反射光式
測光範囲 ●
定常光ストロポ光
SEKO‖′C
ア
[負量こま享 T:認
し、その被写体の露出
 c■ 仕
L-328 EV2-19ゞ・:'■
EV3 19ま・1'■
EV2-19ゞ・:・ ●
F4-90 F・ 1'■
6 7 8 9 i01112131415
このイ直 F56J｀ : T‰ (EVII」 ｀:_)
がこの被写体における適性露出値となりま
す。
(FNOで中間値を読み取る際は液晶表示部下
段の FNO表示を利用すると便利です。)
(SO 100)
受光角 ● 5°
ファイン舛 ● ガリレオ式 (倍率約 13倍)
大きさ、重さ ● 50× 255× 52 5mm 約 30g
Xこの使用説明書に記載の仕様及び外観は、改良の
為、予告なく変更することがあります ,
VIEWFINDER 5°
株式会社
レ ・・7
く本社・営業部〉
く大阪営業所〉
く名古屋営業所 〉
く東京サービスセンター〉
東京都練馬区大泉学園町724 4
〒 78803(978)2330(営業直通)
大阪市中央区本町236本町ビジネスビル
〒541806(263)571
名古屋市中区栄58 4万国ビル
〒4608052(25)620
東京都新宿区市ヶ谷田町38新井ビル
〒 62803(269)7243
L‐328VF使用説明書
L-318

● 各部名称 ■ 測定
:使用するフイルム感度 (SO)、測定するモ
ード及びタイムをセットします。 (露出計
本体の操作)
2ファインダー (7)を覗き、サークルを被写
体の測定したい部分に向け、測光スイッ
チを押して測定します。(コードレスモー
ドの場合は測光スイッチを押す必要はあ
りません。)
フアインダー指標
｀
BIEIビT[ltl:3で御使用のお客様ヘ
● D:Ci LiTE F L-328、 DlGl L:TE L-3■ 8BOこ
`よ
、
測光値補正が付いておりますので、測定さ
れた値がそのまま適正露出値になります。
補正が正常に動作しているかどうかは、
次の方法で御確認できます。
(1)露出計を定常光 EVモードにします。
(2)ノート等、光沢のない約 20Cm四方の均 ― な明るさの測光面を用意し、ビューファ
イングー 5° を装着し、測光面より約 OCm
離し、影を作らない様、均一面の中心部
を測定します。
(3)そのままのモード及び測光位置で、ビュ
ーファイングー 5° を光角度板に付け換え
同様に測光します。
(4)(2)と (3)の測定値の差が 0 5EV以内であれ
ば正常に動作しています。
D:G:LITE L-318で御使用のお客様ヘ
● D:G:L:TE L‐3■ 8`こ
`よ
、測光イ直補正オ幾育ヒが
付いておりませんので、測定した値に十
3EVしたイ直が適正露出イ直となります。
(例)測定値が F2T‰ (lS0100)のとき。
F、。
=里
墜圭せ L=翌翌世 L___ 2 28 4 56 8
● あるいは、使用されるフイルム感度 (ISO)
の値をあらかしめ 8倍に設定しておけば、
測定値が適 1生露出イ直となります。
(例)に O100のフイルム御使用の場合
100× 8=800 (IS0800(こセット)
ビューフアイングー5° は測定物の反射光 (輝度)
確認しながら測光できるアタッチメントです。
露出計側
● 取り付け方
(1)受光部ヘッド① にセットしている光球等
② を反時計方向に回してはずします。
(2)ビューファイングー 5° 回転ツマミ(4)の着
脱指標 (5)を本体側面下端 (図の矢印)「
部に合わせます。
(3)ビューフアイングー 5° 回転ツマミ④ を強
く才甲しながら、受光音6-ッドl に
`よ
め込
み、そのまま時計方向に 45° 確実に回して
取付けます。
● 取りはずし方
回転ツマミ④ を反時計方向に着脱指標が
一致するまで回すとはずれます。
を受光角 5° の測光範囲でファインダーにより
ビューファイング=側
①ファイングー
`5'着脱指標